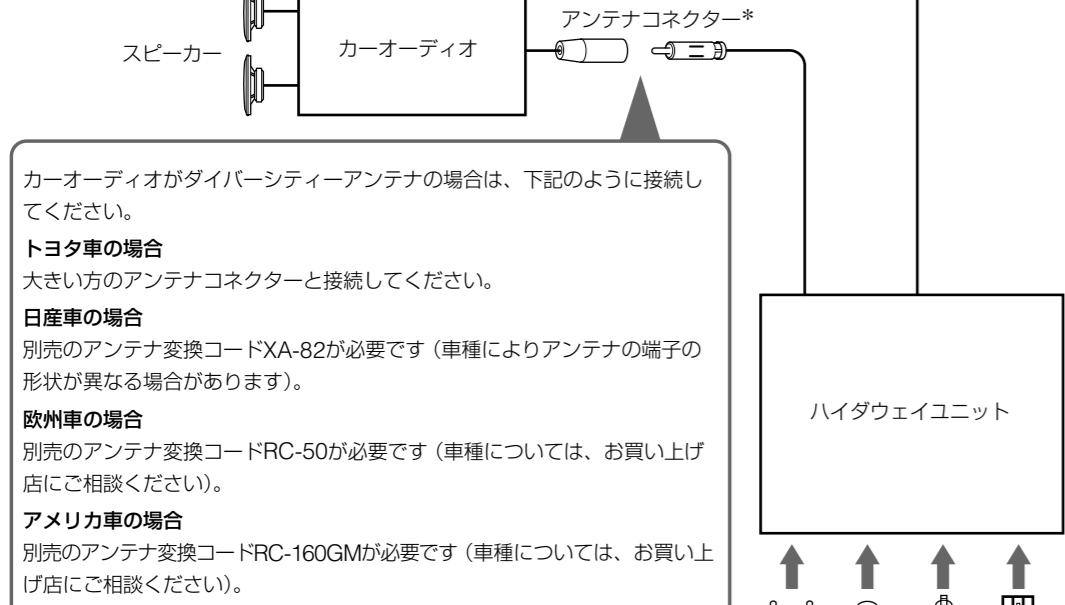


必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
別売り品の仕様については、当社テクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店にご相談ください。

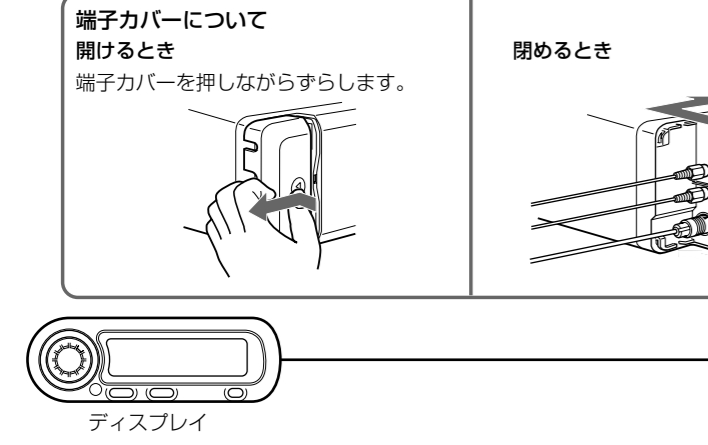
カーアンテナプラグの形状がハイダウェイユニットのジャックに合わない場合は、下記のように接続してください。

- 日産ダイバーシティ採用車の場合**
別売のアンテナ変換コードXA-82が必要です（車種によりアンテナの端子の形状が異なる場合があります）。
- 欧州車の場合**
別売のアンテナ変換コードRC-185が必要です（車種については、お買い上げ店にご相談ください）。
- アメリカ車の場合**
別売のアンテナ変換コードRC-150GMが必要です（車種については、お買い上げ店にご相談ください）。



カーオーディオがダイバーシティアンテナの場合は、下記のように接続してください。

- トヨタ車の場合**
大きい方のアンテナコネクタと接続してください。
- 日産車の場合**
別売のアンテナ変換コードXA-82が必要です（車種によりアンテナの端子の形状が異なる場合があります）。
- 欧州車の場合**
別売のアンテナ変換コードRC-50が必要です（車種については、お買い上げ店にご相談ください）。
- アメリカ車の場合**
別売のアンテナ変換コードRC-160GMが必要です（車種については、お買い上げ店にご相談ください）。



端子カバーについて
開けるとき
端子カバーを押しながらずらします。

閉めるとき
端子カバーを押しながらずらします。

ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の故障の原因となります。

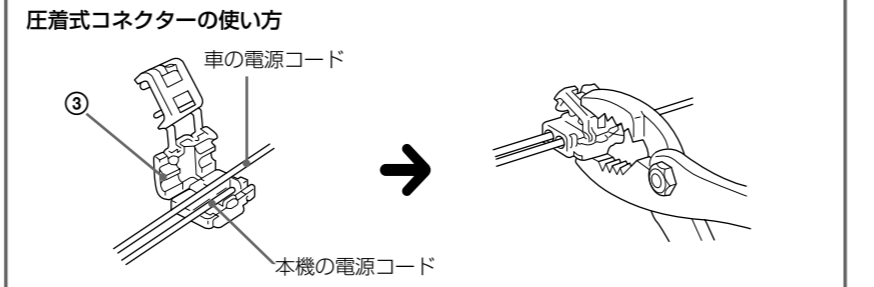
ACCポジションの無い車に本機を取り付けた場合の操作上の警告

お車を離れる場合は、必ず本機のOFFボタンを押して表示が消えたことを確認してください。ディスプレイの表示が点灯したまま車を離れると、バッテリー上がりの原因となります。またこの場合、赤色の電源コードは黄色のコードと同じところ（バッテリー電源）へ接続してください。

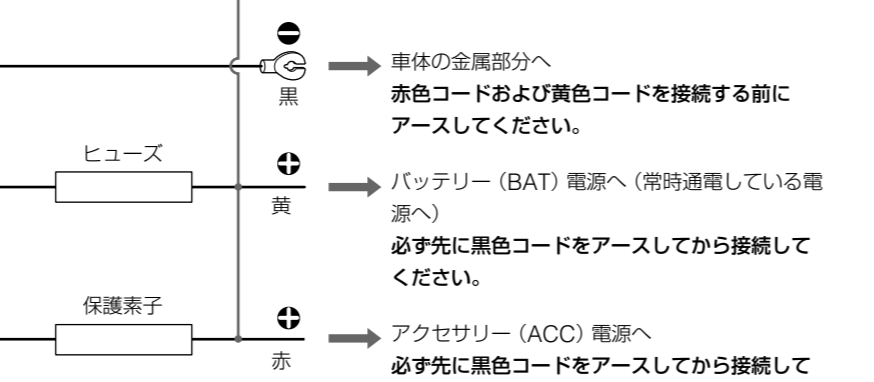
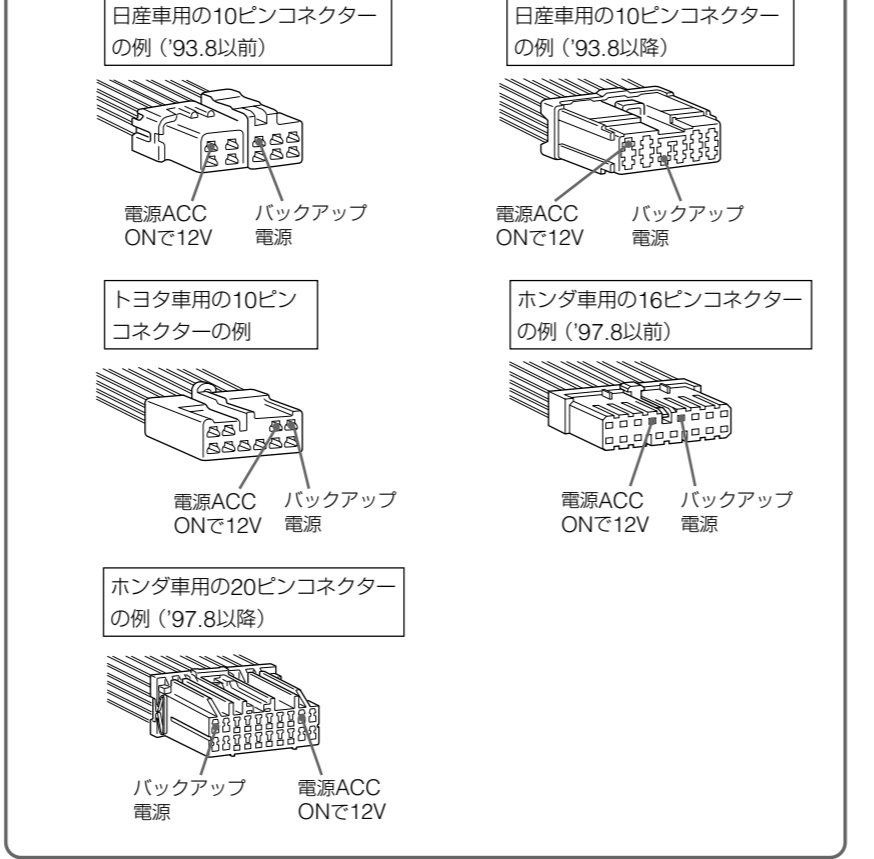
電源コードの色分け

- 赤色コード**
アクセサリ（ACC）電源入力コード。
車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ（ラジオ回路など）につなぎます。
- 黄色コード**
バッテリー（BAT）電源入力コード。
車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところにつなぎます。イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
- 黒色コード**
アース用コード。
車体の金属部分に確実にアースしてください。

* ナビシステムのアンテナプスターなどを接続するときは、配線の順序にご注意ください。ナビシステムにアンテナプスターを接続してから本機を接続してください。順序を逆に接続すると、ナビシステムのVICSやD-GPSが受信できなくなります。



車の電源コードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。下の図を参考にして車の電源コードに接続してください。



車体の金属部分へ赤色コードおよび黄色コードを接続する前にアースしてください。

バッテリー（BAT）電源へ（常時通電している電源へ）必ず先に黒色コードをアースしてから接続してください。

アクセサリ（ACC）電源へ必ず先に黒色コードをアースしてから接続してください。

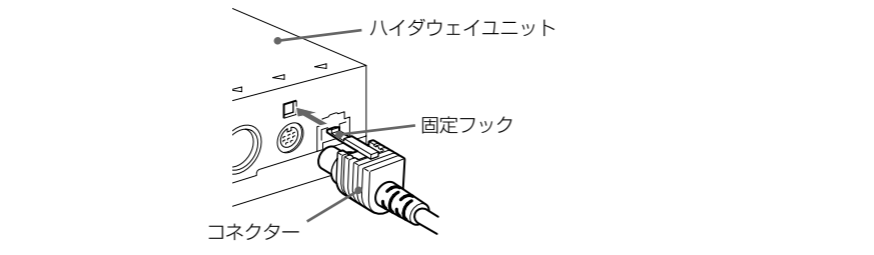
バッテリー電源など、常時通電しているところには接続しないでください。バッテリー上がりの原因となります。ただし、アクセサリ（ACC）ポジションがない車の場合は、バッテリー電源へ接続してください。その際、接続した後、本機のOFFボタンを押して、表示が消えていることを確認してください。表示が点灯されたままだと、バッテリー上がりの原因となります。

ヒューズ

電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

ディスプレイコネクタの接続についてのご注意

図の様にコネクタ固定フックがハイダウェイユニットの穴にしっかりとハマるように、コネクタを接続してください。

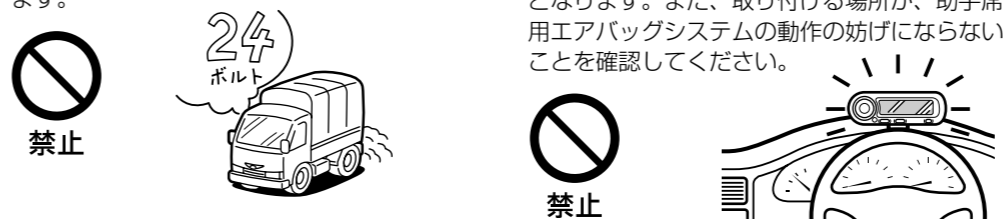


警告 安全のために

- 警告表示の意味**
「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 警告**
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意**
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故にけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。
- 注意を促す記号**
火災 感電
- 行為を禁止する記号**
禁止 分解禁止

警告 火災 感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

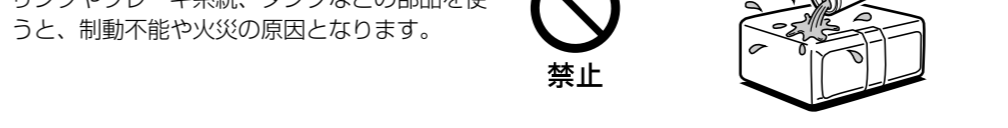
分解や改造をしない
火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切ると、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



規定容量のヒューズを使う
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記載された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



内部に水や異物を落とさない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付け
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかりと固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



ミニディスクチェンジャーシステム

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。
警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要で、万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

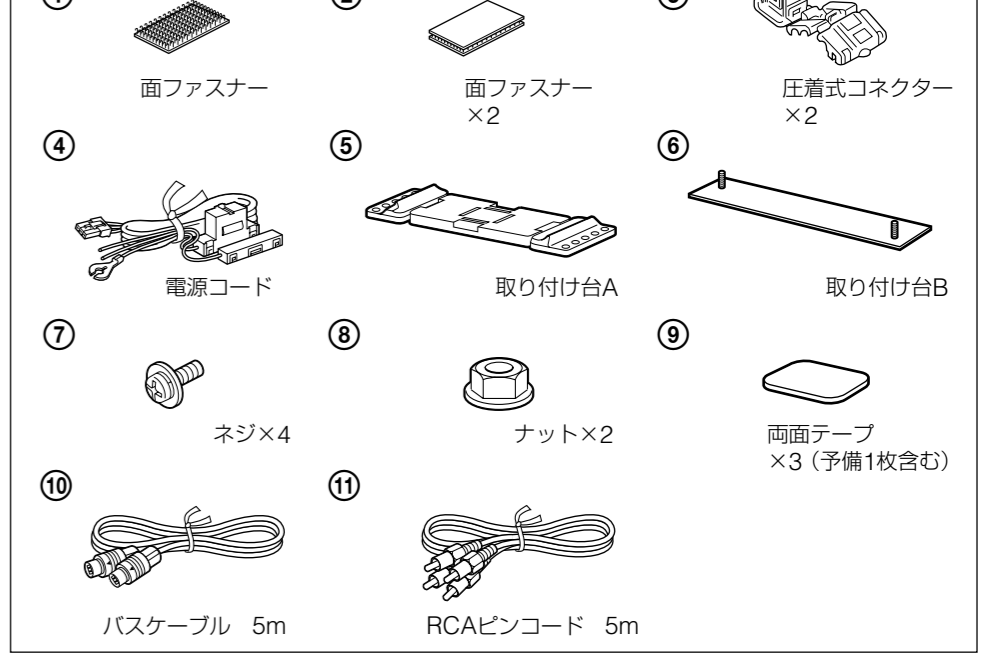
MDX-66XLPRF

Sony Corporation © 2002 Printed in Japan

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内（FAX付電話でご利用になれます）

- カーフィッティングFAXサービス 車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料
- ①インデックスの入手／03-3552-7209 → 車種メーカー別のBOX番号を受信
- ②資料請求／03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。
- 24時間 お手元のFAXで資料が取り出せます
- ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様の負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8：00～午後11：00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。（第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。）

取り付け/接続部品の確認（付属品）



この「取り付けと接続」に記載されている取り付け、接続先の機器は付属品を除き、すべて別売り品です。

- お問い合わせはお客室ご相談センターへ
- 受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00
- ナビダイヤル……………0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料金までご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでの利用は…03-5448-3311
- Fax……………0466-31-2595

この説明書は再生紙を使用しています。
<http://www.sony.co.jp/>

取り付け

取り付け場所

次のような場所に取り付けないでください。

ディスプレイ

- 運転の妨げになる場所
- 同乗者の安全を損なう場所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる場所

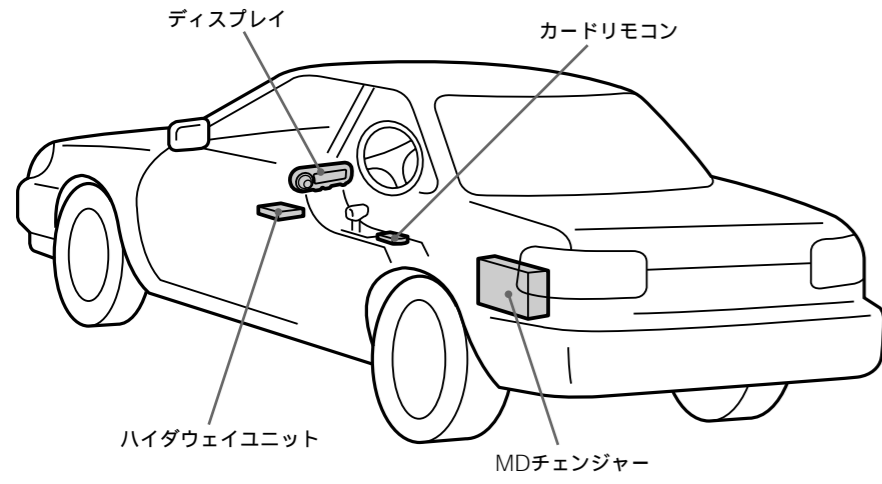
MDチェンジャー、ハイダウェイユニット

- 温度が55℃以上になる場所
- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高い場所
- 雨が吹き込むところなど、水がかかるところや湿気の多いところ

- ほこりの多いところ
- しつかりした取り付けのできない振動の多いところ
- 配線コードやパイプが下を通っているところ
- トランク内またはトランク下にあるスベアタイヤ、その他の備品などを傷つけるおそれのあるところ
- 磁気を帯びたところ

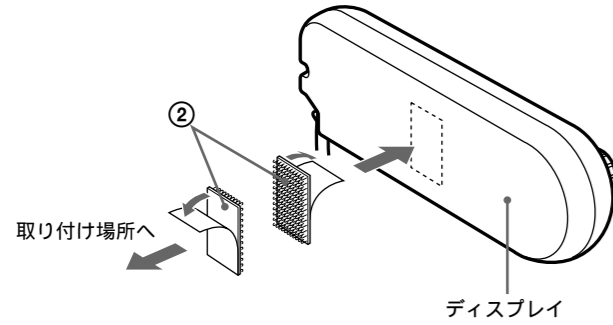
ご注意

- トランク内に穴をあけるときは、必ず裏側に何も無いことを確認してください。
- 必ず、付属のネジ類をお使いください。他のネジを使用すると故障の原因となることがあります。



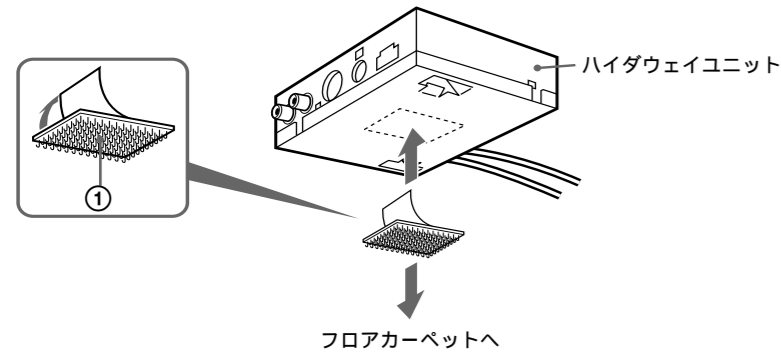
ディスプレイの取り付け

面ファスナーを貼り付ける場所をきれいにし、②で運転の妨げにならない、見やすい位置に取り付けます。



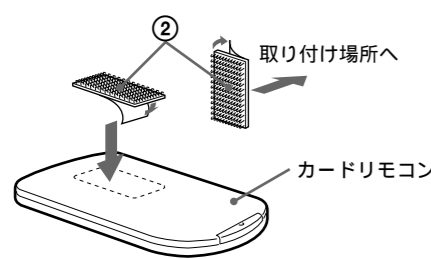
ハイダウェイユニットの取り付け

面ファスナーを貼り付ける場所をきれいにし、①でシート下などのフロアカーペットに取り付けます。



カードリモコンの取り付け

貼り付ける場所をきれいにしたあと、面ファスナー②を使って運転の妨げにならない位置に取り付けます。



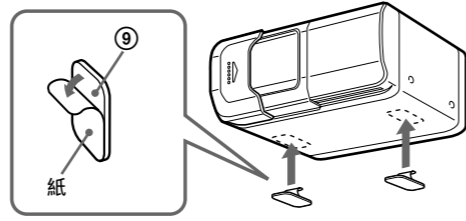
ご注意

取り付け位置を決める前に、その場所からカードリモコンでシステムが操作できることを確認してください。

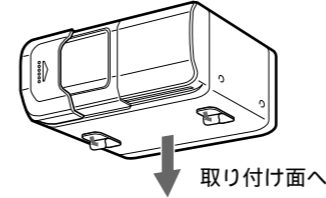
MDチェンジャーの取り付け

グローブボックスやコンソールボックス内に取り付ける

1 紙をはがし、両面テープ⑨を本機底面に貼り付ける。



2 取り付け面の汚れをふき取り、本機を貼り付ける。

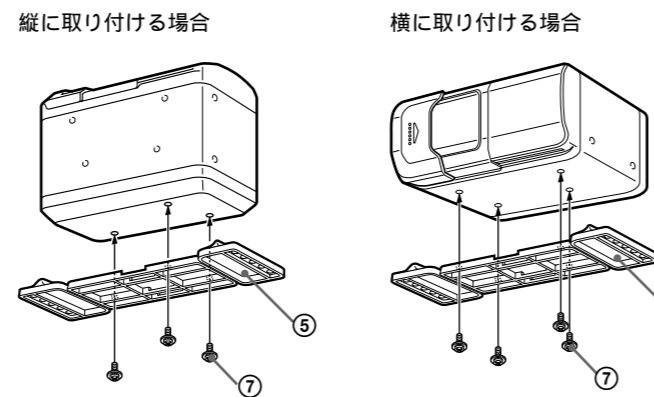


ご注意

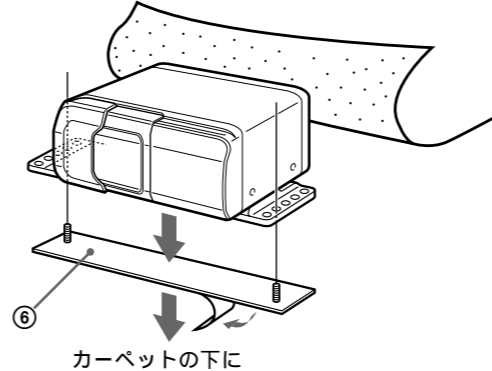
- 両面テープには強力な粘着力がありますので、貼り付けるときは、本機の使用やグローブボックス、コンソールボックスのふたの開閉の妨げにならないことを確認してください。
- グローブボックス内に本機を取り付ける場合、グローブボックスを開けたときの本機の取り付け角度が0-90°以内になることを確認してください。

フロアなどに取り付ける

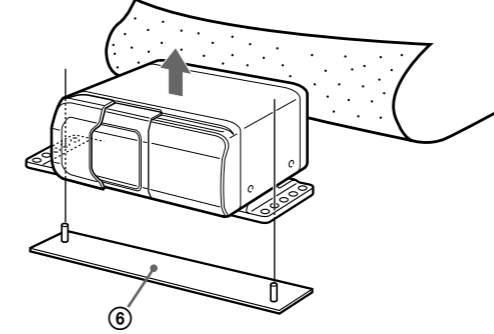
1 取り付け台A⑤をネジ⑦で本機に取り付ける。



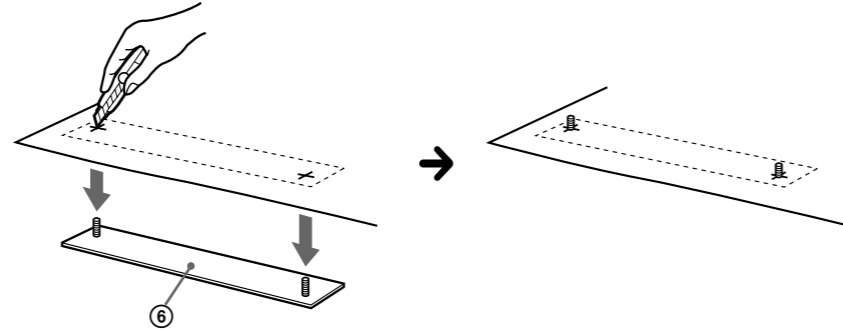
2 取り付け面の汚れをふき取り、本機と取り付け台B⑥を合わせ、固定位置を決めてから⑥を貼り付ける。



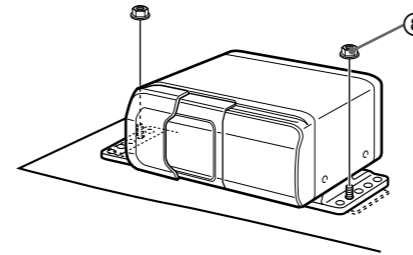
3 本機をいったん取りはずす。



4 カーペットにカッターナイフなどで切りこみを入れる。

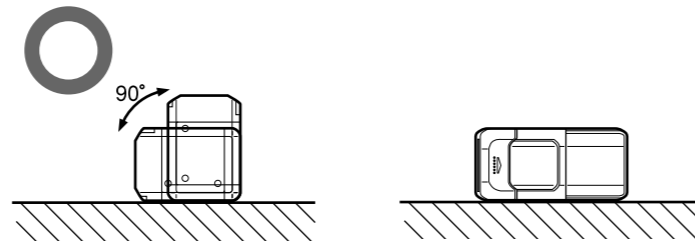


5 ナット⑧で取り付ける。

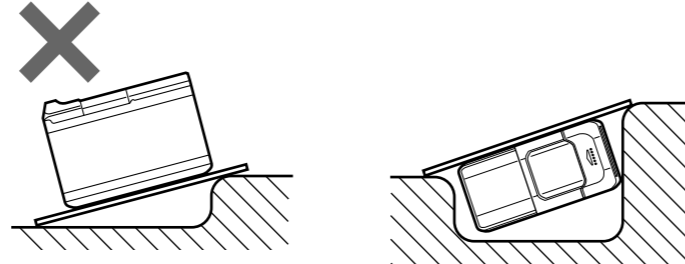


取り付けの角度について

本機の取り付け角度は上向きに0-90°です。左右は水平にしてください。



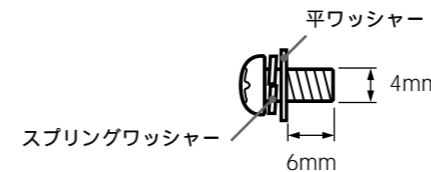
左右に傾けたり、天地を逆にして取り付けないでください。



付属のネジを使う

必ず付属のネジ⑩で取り付けてください。他のネジで取り付けの場合は、次のサイズのものをお使いください。

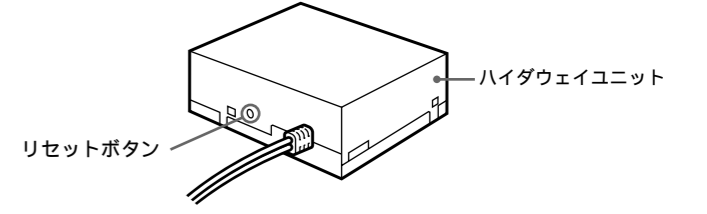
その他のネジ
最大寸法 M4 x 6mm



これより長いネジを使うと故障の原因となります。

取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確かめてください。
- 必ず、ハイダウェイユニットのリセットボタンをつま楊枝の先などで押ししてください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因になります。

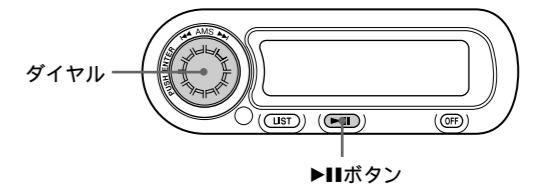


- 故障かな?と思った場合は、接続をもう一度確認するとともに、取扱説明書の「故障かな?」をご覧ください。

送信周波数を設定する

本機ではMDをFMチューナーで聞きます。そのため、本機で設定している本機からFMチューナーへ送信する周波数と同じ周波数のFM放送があると、MD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機の送信周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。

ディスプレイで操作するには



- 1 MD再生中に、ダイヤルを周波数が表示されるまで2秒以上押す。
- 2 ダイヤルを回して、周波数を選ぶ。右に回すと周波数は次のように切り換わります。

88.3MHz → 88.5MHz → 88.7MHz → 88.9MHz → 89.1MHz → 89.3MHz → 89.5MHz → 89.7MHz → 89.9MHz → 88.3MHz

左に回すと逆順に表示されます。

- 3 最後にダイヤルを2秒以上押す。

リモコンで操作するには

以下のボタンを押して同様の操作ができます。

- 1 MD再生中に、ENTERボタンを周波数が表示されるまで2秒以上押す。
- 2 +/-ボタンを押して、周波数を選ぶ。
- 3 最後にENTERボタンを2秒以上押す。

ご注意

- 本機の送信周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録(プリセット)する周波数も変えてください。
- 停止状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を起動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶▶ボタンを押してください。